

# 糖尿病だより



2011年8月  
No. 16

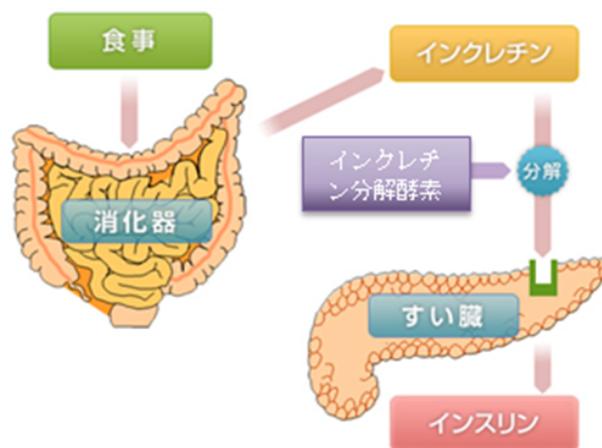
～薬剤科より～ 最近、話題のインクレチン関連薬について

## Q. インクレチンとは・・・

A. 食事をすると腸から分泌されるホルモンで、血糖値が高い時だけ膵臓からのインスリン分泌を促す働きがあります。

## Q. インクレチン関連薬とは・・・

A. 体内のインクレチン量を増やすことでインスリン分泌を促進し血糖値を改善させる薬で、飲み薬と注射薬があります。飲み薬は、インクレチンを分解する酵素(DPP4)の働きを弱めてインクレチンの寿命を延ばします。また、注射薬は分解されにくい構造のインクレチン類似物です。これらの薬はインスリンを作るβ細胞が残っている方に有効です。



## Q. インクレチン治療が注目されているのは为什么呢？

A. 低血糖の心配が少なく、1日1～2回の内服や注射で効果が期待できます。また、注射薬では食欲抑制や若干の体重減少効果もみられています。



## Q. どのような薬が市販されていますか？

A. 現在、国内で5種類の薬が使用されています。  
飲み薬：シタグリプチン、アログリプチン、ビルダグリプチン  
注射薬：リラグリチド、エキセナチド



糖尿病のコントロールには食事・運動などの生活習慣を変えることと、その継続が欠かせません。皆様の糖尿病療養に役立つ情報をこの「糖尿病だより」で発信していきます。



糖尿病療養指導スタッフ一同 国立病院機構 姫路医療センター